

平成30年度 再々評価点検表（内部評価）

1 事業概要

事業名	都市計画道路 大和川線 街路事業 及び 関連街路事業（都市計画道路 堺松原線）	
担当部署	都市整備部交通道路室道路整備課建設グループ(連絡先 06-6944-9280)	
事業箇所	大阪府松原天美西8丁目～三宅西7丁目	
再々評価理由	再評価実施後5年間を経過した時点で継続中	
事業目的	<p>本路線は、松原市北部に位置し、大阪府道高速湾岸線と大阪府道高速松原線を結ぶ自動車専用道路で、都市構造の再編を促す大阪都市再生環状道路の一部を構成するものである。</p> <p>本路線の整備により阪神高速の環状線等都心部に集中する交通を分散させ、多数の慢性的な渋滞や沿道環境の悪化等を大幅に改善し、また、大阪府南部地域において東西方向の道路機能向上を図り、地域の活性化社会経済活動の発展に寄与するものである。</p> <p>関連道路として、大和川線へのアクセス道路である堺松原線を一体的に整備する。</p>	
事業内容	【大和川線】 街路築造工 延長:L=2.7km 幅員:W=17.5m~72.5m(車線数:4、歩道なし)	【堺松原線】 街路築造工 延長:L=2.1km 幅員:W=38.0m~99.0m(車線数:4、両側自歩道)
事業費 ()内の数値は 前回評価時点のもの	【大和川線】 全体事業費：約825億円 (内訳) 調査費等 約30.0億円 用地費 約165.4億円 工事費 約629.6億円 【工事費の内訳】 街路築造工 629.6億円	【堺松原線】 全体事業費：約112.8億円(約111億円) (内訳) 調査費等 約5.0億円(約4.1億円) 用地費 約5.4億円 工事費 約102.4億円(約101.5億円) 【工事費の内訳】 街路築造工 102.4億円
事業費の変更理由	【大和川線】 【事業費変動要因の状況】 — 【他事業者との協議状況】 —	【堺松原線】 【事業費変動要因の状況】 <ul style="list-style-type: none"> 電線共同溝の配置計画の変更による詳細設計の追加や、事業損失調査等の実施による調査費等の増額 電線共同溝の配置計画の変更による工事費の増額 【他事業者との協議状況】 —
維持管理費	【大和川線】 1,088億円 阪神高速道路(株)算出 9.7km、50年間の合計額	【堺松原線】 1,039万円/年 [道路部：33万円/千㎡・年(過去5年府内実績より算出)]

2 事業の必要性等に関する視点

	事前評価時点 H16	前回評価時点 H25	再々評価時点 H30	変動要因の分析
事業を巡る社会 経済情勢等の変化	<ul style="list-style-type: none"> 大阪府道高速湾岸線と大阪府道高速松原線を結ぶ自動車専用道路である。 大阪南部地域では東西方向の幹線道路が少なく、慢性的な交通渋滞が発生している。 本路線の整備により、新たなネットワークを形成し、都心部への交通流入の減少や、地域の交通渋滞の緩和を解消を図る。 ・関連道路として、大和川線へのアクセス道路である堺松原線を一体的に整備する。	<ul style="list-style-type: none"> 事前評価時と同様。 平成25年3月に、大阪府道高速松原線から三宅西ランプまでの0.6kmを供用。 ・関連道路である堺松原線については、事業区間L=2.1kmのうち、大和川線の一部供用に併せ、平成25年3月、L=0.8kmを暫定供用。さらに、平成25年11月には、残区間L=2.1kmを暫定供用。	<ul style="list-style-type: none"> 事前評価時と同様。 大和川線については平成29年1月に三宝JCTから新たに鉄砲出入口の1.4kmを供用。 関連道路である堺松原線については、平成27年3月に、暫定供用していた事業区間L=2.1kmを含む全線で4車線化供用。 	—
地元の 協力体制等	大阪都市再生環状道路の一部を構成し、地域社会・経済活動の発展に寄与する重要な路線として、早期整備が望まれている。			

	事前評価時点 H16	前回評価時点 H25	再々評価時点 H30	変動要因の分析
事業の投資効果 ＜費用便益分析＞ または ＜代替指標＞	【効果項目】 ・ 走行時間短縮便益 ・ 走行費用減少便益 ・ 交通事故減少便益 【分析結果】 (大和川線) ・ B/C=2.62 B= 12,618 億円 C=4,825 億円	【効果項目】 ・ 走行時間短縮便益 ・ 走行経費減少便益 ・ 交通事故減少便益 【分析結果】 (大和川線) B/C=2.2 B=10,923 億円 C=4,883 億円 ※平成 24 年に阪神高速(株)により大和川線全線を実施	【効果項目】 ・ 走行時間短縮便益 ・ 走行経費減少便益 ・ 交通事故減少便益 【分析結果】 (大和川線) ・ B/C=1.9 B=9,943 億円 C=5,328 億円 ※平成 27 年に阪神高速(株)により大和川線全線を実施	—
	【算出方法】 費用便益分析マニュアル(国土交通省平成 15 年 8 月) ※大和川線全線について算定 【受益者】 道路利用者	【算出方法】 費用便益分析マニュアル(国土交通省平成 20 年 11 月) ※(堺松原線)総便益及び総費用は、基準年(平成 21 年)における現在価値で算出している。社会的割引率は年 4%、供用開始は平成 26 年、費用便益の算定期間は供用開始から 50 年としている。 ※総費用=事業費+維持管理費 【受益者】 道路利用者	【算出方法】 費用便益分析マニュアル(国土交通省平成 20 年 11 月) ※(堺松原線)総便益及び総費用は、基準年(平成 30 年)における現在価値で算出している。社会的割引率は年 4%、供用開始は平成 26 年、費用便益の算定期間は供用開始から 50 年としている。 【受益者】 道路利用者	

事業効果の定性的分析 (安心・安全、活力、快適性等の有効性)	【効果項目】 [安心・安全] ・ 阪神高速道路は広域緊急交通路に指定されており、堺泉北港堺 2 区基幹的広域防災拠点から内陸部への支援ルートの形成など、広域的な防災力を強化 [活力] ・ 物流ネットワークを強化 [快適性] ・ 都心部を迂回するルートを形成 ・ 周辺道路の混雑緩和 【受益者】 ・ 道路利用者、地域住民			—
	事前評価時点 H16	前回評価時点 H25	再々評価時点 H30	変動要因の分析
事業の進捗状況 ＜経過＞ ① 事業採択年度 ② 事業着工年度 ③ 完成予定年度	① 平成 16 年度 ② 平成 16 年度 ③ 平成 26 年度	① 平成 16 年度 ② 平成 16 年度 ③ 平成 28 年度	① 平成 16 年度 ② 平成 16 年度 ③ 平成 32 年度(予定)	地元調整等に時間を要したため
＜進捗状況＞	—	【大和川線】 ・ 全体 82.8% (682.8 億円/825.0 億円) ・ 用地 100% (165.4 億円/165.4 億円) ・ 工事 78.5% (517.8 億円/659.6 億円) 【堺松原線】 ・ 全体 90.5% (100.4 億円/111.0 億円) ・ 用地 100% (5.4 億円/5.4 億円) ・ 工事 90% (95.0 億円/105.6 億円)	【大和川線】 ・ 全体 97.4% (803.2 億円/825.0 億円) ・ 用地 100% (165.4 億円/165.4 億円) ・ 工事 96.7% (637.8 億円/659.6 億円) 【堺松原線】 ・ 全体 99% (112.5 億円/112.8 億円) ・ 用地 100% (5.4 億円/5.4 億円) ・ 工事 99% (107.1 億円/107.4 億円)	—
事業の必要性等に関する視点	・ 大阪都市再生環状道路の一部を形成する路線であり、阪神高速の環状線等都心部に集中する交通を分散させ、多数の慢性的な渋滞や沿道環境の悪化等を大幅に改善することが可能。 ・ 既存の高速道路の利便性の向上を図ることにより地域社会・経済活動の発展に寄与。			

3 事業の進捗の見込みの視点

事業の進捗の見込みの視点	(大和川線) ・事業区間のうち、平成 25 年 3 月に、三宅中から三宅西ランプまでの 0.6km 区間は供用済みである。また、平成 29 年 1 月に三宝 JCT から鉄砲出入口の 1.4 km を供用済みである。 ・用地買収は完了済みであり、平成 31 年度末に供用開始する予定。 (堺松原線) ・堺松原線については、平成 26 年度に車道部を全線供用済みである。引き続き残工事として電線共同溝の整備を進めていく。
--------------	---

4 コスト縮減や代替案立案等の可能性の視点

コスト縮減や代替案立案等の可能性の視点	・用地取得が 100%、工事が 96.7% の進捗があり、コスト縮減又は代替案立案等の可能性は無い。
---------------------	--

5 特記事項

自然環境等への影響とその対策	・本路線を整備し、周辺道路の交通分散、渋滞緩和を図ることにより、その周辺地域の騒音・振動等の低減効果が期待できる。
前回評価時の意見具申（付帯意見）と府の対応	—
上位計画等	【上位計画】 ・大阪府都市整備中期計画（案）（H28.3）
その他特記事項	—

6 評価結果

評価結果	○事業継続 <判断の理由> ・大阪都市再生環状道路の一部を構成することにより、都心部に集中する交通を分散させ、既存の高速道路の利便性向上、大阪南部地域の東西方向の交通混雑の緩和を図り、地域社会・経済活動の発展に寄与することなどの必要性については変化がない。 以上により、事業を継続する。
------	--

平成30年度 再評価 (都市計画道路 大和川線 街路事業 及び 関連街路事業(都市計画道路 堺松原線))

